

2018年  
11月10日

No.240

# さざなみ

〒520-2141  
大津市大江6丁目23-24
**さざなみネット**  
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)  
 TEL・FAX 077-545-5154

## 近畿地協第13回定期大会

# 地域経済と一緒に歩んでこそ地域金融機関の役割・存在意義がある

10月27日、近畿地協第13回定期大会が大阪国労会館で開催され、代議員・役員など24人（委任状1人含む）が、さざなみネットからは山崎書記長が役員として参加しました。

主催者を代表して岡野議長は「組合のないところで労働学校に多く集まっていると聞いた。組合があることは大事なこと。困ったときだけの組合ではない。本当のことを学ぶということが大事だ。マスコミで金融機関の危機、展望がないと言われている。私たちは今地域金融機関としての正念場を闘っている。地域金融機関だけが生き残る闘いではない。地域経済の振興と一緒に歩んでこそ地域金融機関としての役割があり、存在意義がある。みんなで学習してがんばっていききたい」と挨拶しました。

来賓のみなさんから、安倍首相再選後の政治・経済情勢や職場での活動を踏まえた、激励のあいさつを受けました。

次に、議案が阿部事務局長と伊藤事務局次長から提案され、討議では単組・分会から6人が、さざなみネットからは山崎書記長が発言（要旨裏面）しました。

### 発言の要旨

- ・エリア制の実施がサービスの低下にならないよう、今後を見極め交渉し改善させていきたい。



岡野議長があいさつ

- ・人事制度の改定の導入に対して、激減緩和措置の要求などにより影響の減少に努力している。
- ・非正規労働者の昼食手当、通勤手当、慶弔休暇を是正させた。差別は許せない。
- ・非正規労働者に対する公共交通機関の遅延による差別扱いの改善を要求し続け、実現させた。

討論の後、採決の結果全議案とも満場一致で採択されました。

その後、新年度の役員選挙が行われ、次の方々が選任されました。

### 選出された新四役（会計監事・敬称 略）

議長	岡野展子（池田泉州従組）
副議長	松島照男（金融ユニオン・大阪分会） 辻 昇三（金融ユニオン・直属分会）
事務局長	阿部正巳（京都北都信金従組）
事務局次長	伊藤宗孝（金融ユニオン・直属分会）

最後に岡野議長が新役員を代表して決意表明を行い、阿部事務局長の音頭でガンバローを三唱し閉会しました。



選出された役員



大黒天道祖神 岩波 美智子さん 画

# 利益の減少を人件費削減で 地域金融機関として疑問

さざなみネットは、滋賀銀行従業員組合・そのOB組織の年金者部会と共同して、働く仲間の要求実現と地域を守る活動をしている。

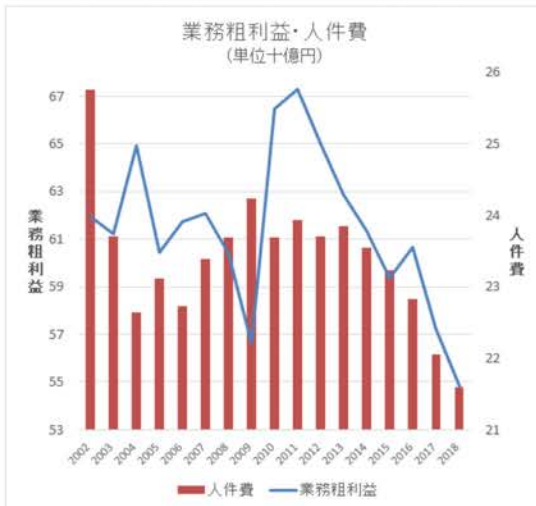
銀行は「未来永劫銀行の名を残すため、生産性、収益性を高めなければ」と従業員数や平均給与を削減して、人件費を大幅に減らしている。組合から見た銀行の経営分析をみると、具体的な数字やグラフでよくわかり、交渉や対話に活用している。



山崎さざなみネット書記長が発言

大幅に人事制度が改悪がされた2002年と比較すると、業務粗利益が71億円（11.5%）減少しているなか、人件費は42億円（16.2%）減少している。

（右グラフ）



これでは、生活が大変で、地域の消費購買力が減り、地域経済が疲弊する。地域金融機関としてこれでいいのか、疑問である。

## ちぎんの会「寿長生」総会

# 元気に活動しておられる姿に感動 健康で再会を誓い合う

ちぎんの会「寿長生」総会が、10月1日から12日にかけて淡路島福良の「淡路島海上ホテル」で行われ、東京から大分までの会員24人が、さざなみネットから6人が参加しました。

総会は古田ちぎんの会副会長のあいさつの後、泉州の鈴木さんの乾杯の音頭で食事をしながら歓談が始まり、旧交を温めました。その中で各団体からの報告や出し物が行われ、最後に全員が腕を組み「地銀連のうた」を歌って、奮闘と健康・再会を誓い合いました。

10日は、淡路ハイウェイオアシスで休憩をし、伊弉諾神宮を参拝、大鳴戸橋を見物してホテルに集まりました。

11日は、需要無形文化財の淡路人形座「戎舞」を鑑賞し、きとら津名店で昼食を取り帰路につきました。

参加者のみなさんは、90歳近くの方もあり



淡路海上ホテルから 福良湾を望む

ましたが、多方面に活躍され、元気に活動しておられる姿をお伺いし感動しました。

淡路島は食の宝庫と言われるだけあって、ホテルや昼食の食事は、取れたての魚や新鮮な野菜の料理が多く非常においしくいただきました。



低く垂れこめた雲の合間から除く山々と 上高地のシンボル 河童橋

**気まぐれな挑戦**  
 不満がない訳ではないが、平凡なありきたりの日々を過ごしている中で、自信の持てる何かに挑戦して成し遂げたいと思いい、山に登ることにしました。信州の唐沢岳を目指し春から訓練に臨むが、坐骨神経痛になったり身体に異変を感じたりしました。雨の比叡山や伊吹山に登って足慣らし、毎朝リックに6リットルの水を入れて歩きました。  
 9月14日、天候が怪しいが行動開始、2日目に臨みをかけましたが天候の神様に嫌われたようです。雨の上高地を散策し2日目以後の日程を断念せざるを得なかった。雨の上高地は想像以上に素晴らしかった。今の状態であればもう一度挑戦出来るかも。  
 (奥村美代子)